



npo@nagano-shimin.net <http://www.nagano-shimin.net/>

・ ・ ・ ・ NPO ・ 市民協働情報誌



目玉は『飯だ!』と聞いた
ら火事より急げ 家族と食
す100人箱膳』と、食育
劇団ええ〜っこの第4回公演
ぜんこうじゅかりのみものがたり
『善光寺縁味噺物語』です。
100人箱膳は、長野県農村
文化協会が企画。昔の人の食
に対する思いがまつた箱膳
を通して、食べごとの文化を
学びます。参加費はお一人
2000円(予約制)、問い
合わせは当センターまで。食
育劇団ええ〜っこの公演で
は、江戸時代の善光寺を舞台
に、信州味噌にまつわるさま
ざまな物語を上演する予定で
す。脚本・演出は河野ます美
さん、音楽監修・舞踊はせん
ぜもん(中野哲良)さんが手
がけます。入場無料。

その他にも、みそボール
(次頁へ続く)

秋のイベントへGO!



実行委員会の様子

(前頁より続き)
ちゃんづくりや、利きみそ・利きだしの体験などができる『ワークショップ de スタンプラリー』(参加費300円)や、みそ汁やおにぎりと共にみそフェスタオリジナルみそを味わえる『みそフェスタオリジナルみそを味わおう!』企画(無料/長野味噌醤油工業協同組合技術会 提供)など、信州の味噌を堪能できる企画も。善光寺徳寿院の清水住職による読経や、長野西高等学校校書道班によるオープニングパフォーマンスも予定されており、多世代が楽しめるイベントを目指します。



昨年のみそフェスタの様子

「開催地を善光寺にしたことで、歴史文化と味噌との関連性についても学べる機会となれば」と、プロジェクトリーダーであり、実行委員長の飯島美香さん。同日には周辺で、手づくり市『善光寺びんずる市』や、『街角アート&ミュージック』の開催予定もあり、イベント間の連携にも力を入れています。

企業協賛により、みそフェスタオリジナルみそやきのこみそ冊子など、参加者へのプレゼントも予定されています。

「生きることは食べること。」このイベントを通して、食の大切さについて考えてみませんか。(廣田)

協働を通して 障がい者への理解を深める

誰もが安心して観光を楽しめるよう、障がい者目線で街を調査し、その情報をもとにアプリ開発を行っている「長野市ユニバーサルタウンマップ制作プロジェクトチーム」。NPO法人ヒューマンネットワークながのが中心となり、障がい者や、長野工専や住環境コーディネーターなど専門家が集まって平成25年に発足しました。障がいやユニバーサルデザインについて理解を深めてもらいたいと、信大教育学部付属小学校の児童や地域ボランティア、商店会が参加して、長野市街地を中心に実地調査

を続けてきました。

今年度は長野市の事業となり、調査範囲を郊外へも拡大。8月5日、地元で活躍するNPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会の協力により、総勢43名による松代全域の実地調査が行われました。地元スタッフからは、「これまで何度となく町内を歩いてきたが、障がい者目線で歩いたのは初めて。新しい気づきがたくさんあった」との声が。プロジェクトリーダーの川崎昭仁さんは、「長野市の事業となったことで、これまで以上に責任の伴う事業運営が求められる。



松代で実地調査

市民の理解と協力が必要不可欠。今後は観光という視点だけでなく、地元住民が生活レベルで活用できるものにしていきたい」と今後への意欲を語りました。(廣田)

SCCが終了—— 新たな企画「ポップアップ知恵出し会議」に期待!



SCC 最終回の様子

2013年5月より毎月、働く世代を対象に開催してきたソーシャルコミュニケーション

サークル(SCC)の最終回を9月2日に行いました。コワーキングスペースR E E K SとF A B Bのスタッフが活動を紹介。21名の参加者は「健全なコミュニティのイメージ」「コミュニティに必要なこと」について書き出し、発表し合いました。今後は、交流を企画するスペースがつながって共にコミュニティを育てて行こうという結論に達しました。

3年半で約200名に参加していただきました。ありがとうございました。

新しい企画として「ポップアップ知恵出し会議」を秋から年6回程度企画予定です。身近で起きている新しい動きを取り上げ、専門家を招いて、みんなで知恵を出し合う会議です。

第1弾として11月18日に、「長野県立大学ができるっ!! (仮称)」を予定しています。乞うご期待!(寺澤)

秋のイベントへ GO!

域や社会に還元し
その成果を広く地
の発展を目指し、
て、自団体や活動
助成金を活用し
大事だといえます。
るかということが
ように「活用」す
まで通過点、そのあとでどの

況や、リアルな助成金申請、
助成金を本当に活用するとい
うこと、それに基づいた事業
づくりについて、ワークを交
えてお話しいただきます。
山田さんは「獲得」はあく
まで通過点、そのあとでどの

法について学びます。
実際の助成プログラムの状
況や、リアルな助成金申請、
助成金を本当に活用するとい
うこと、それに基づいた事業
づくりについて、ワークを交
えてお話しいただきます。
山田さんは「獲得」はあく
まで通過点、そのあとでどの

NPOステップアップ講座【特別編】 「リアルな 助成金の活用」



講師 山田泰久さん

NPO法人や任意団体に
とって重要な資金源の一つで
ある「助成金」を上手に活用
していますか？
10月のNPOステップアッ
プ講座は、特別編としてNP
O法人CANPANセンター
代表理事の山田泰久氏を講師
にお迎えし、助成金の活用方
法について学びます。

ていくことと、助成金申請や
助成事業実施を通じて、公益
活動に関する別の視点を学ぶ
ことで、新しい助成金に対す
る考え方を身に着けていた
くことができる講座です。

この助成金活用セミナーに
参加することによって「助成
金を活用して、事業、団体
社会をどう変えたいか？」を
考える機会になるのではない
かと思っています。

※1団体で3名以上で申込
と、1団体あたり500円の
割引になります。詳しくは市
民協働サポートセンターまで
お問い合わせください。(北村)

お問い合せください。(北村)

NPOステップアップ講座【特別編】
リアルな助成金の活用
FRAGMENTS (=断片)を通して社会をとらえ直す

日時：平成28年10月15日(土)
15:00~18:00
場所：もんぜんぶら座 3F 304会議室

＜内容＞
●実際の助成プログラムの状況とリアルな助成金申請
●助成金を本当に活用するということ
●それに基づいた事業づくり

講師：NPO法人CANPANセンター
代表理事 山田 泰久 氏

＜プロフィール＞ 慶応義塾大学文学部卒(フランス文学専攻)。
1996年日本財団奨励賞、2014年4月、日本財団からNPO法人CANPANセンターに転出。市役、NPO、企業などの活動を行い、連携を促進することで、民間主体のより豊かな社会づくりに貢献することを目的とするプロジェクト「日本財団CANPANプロジェクト」の企画責任者。

参加費：1,000円(資料代含む)
団体割引：1団体につき500円割引(3人以上)
※事前のお申し込みが必須です。申込書は裏面をご利用ください。

定員：40名(先着順)

お申込み
お問い合わせ
長野市市民協働サポートセンター (長野市新田町1485-1)
TEL:026-223-0051 FAX:026-223-0052
E-mail: npo@inagano-shimin.net

2016年10月～12月 市民協働サポートセンター まんまる スケジュール

タイトル	日時	会場・費用	内容
NPO初歩講座 「きほんのき」	10月26日(水) 13:30～16:00 11月30日(水) 13:30～16:00 12月14日(水) 18:30～21:00	市民協働サポートセンター 300円	「NPOってなあに？」この講座ではそんな疑問にお答えしていきます。法人を設立したいという人もまずはこの講座から始めましょう。毎回ゲストに、市内NPO法人を招いて生の声をお聞かせします。
NPOステップアップ講座 リアルな助成金の活用	10月15日(土) 15:00～18:00	もんぜんぶら座 304会議室 1,000円(団体割引あり)	講師にNPO法人CANPANセンターの山田氏をお迎えし、助成金の活用方法と事業づくりについてワークを交えて学びます。
ステップアップ講座 NPO会計のいろは	11月21日(月) ① 13:30～16:00 ② 18:30～21:00	もんぜんぶら座 303会議室 300円	これだけは知っておきたい会計のいろはについて解説。ながのまちづくり活動支援事業補助金の会計処理に際しての注意点を確認していきます。
<新企画> ポップアップ知恵出し会議	11月18日(金) 13:30～16:00	もんぜんぶら座 303会議室 無料	SCCに変わる新企画がいよいよスタート。2018年度からスタートする「長野県立大学」について、県の担当者を迎えて、大学の全容を説明してもらいます。後半は参加者と一緒に、NPOや企業等、民間と大学がどう連携できるのか、知恵を出し合うワークショップを予定。
新！元祖 NPOカフェ まんまる	人をつなぐ、街をつなぐ ～みんなが夢を語る まちづくり～	10月25日(火) 18:30～20:30	市民協働サポートセンター 無料
	neko塾 ～猫との共生を考える～	11月25日(金) 19:00～21:00	もんぜんぶら座 301会議室 無料
	シニアの市民活動のための 情報発信について学ぶ	12月(調整中)	松代まち歩きセンター・伝承館 無料
まちむら交流会	10月2日(日) 9:30～14:00	鬼無里地区 有料(実費)	6月にお田植えをした田んぼでの手刈りと、はぜかけ体験。体験後は、地元の料理で昼食会。
まちむら交流会	11月23日(水) 9:30～14:00 (予定)	芋井地区 有料(実費)	りんご農作業体験、ピザ窯でつくるりんごピザを囲みながら昼食交流会。(予定)
大人の遠足【栄村編】 GO!GO!アウトドア!	10月22日(土) 10:30～14:00	長野県栄村 有料(実費)	豊かな自然に抱かれる栄村で、アウトドア体験＆きのこと狩り！人と自然とをつなげる場を提供しているNPO法人信州アウトドアプロジェクトの活動現場におじゃまします。企画/NPO法人信州アウトドアプロジェクト

—ながのまちづくり活動補助金活用団体紹介—



手作り教材でトレーニング

「コロロって何？」と思う人もいるかも知れませんが、コロロ発達療育センターとは、自閉症、発達障がいなどの子ども達のための療育機関です。長野市周辺には学べる場所はないので、東京まで通っている親子

もいるそうです。そんな人達が「子どもの成長の手助けをしたい」「もつと気軽にコロロを学びたい!」と、活動し始めた親子の会が、2014年12月に「コロロを学ぶin長野」を設立しました。毎月2回の定期活動(通称コロカツ)と年4回の講演会を行っています。今年度は長野市のまちづくり活動補助金を活用し、活動を広げています。

8月21日にはサンアップルで、9組の親子が参加しコロカツを行いました。屋外では

「コロロを学ぶin長野」
メール: kololo.nagano@gmail.com

広がりをもせる「コロカツ」!

「コロロを学ぶin長野」



竹で箸を作る作業をする参加者

エストニア、メキシコ、台湾から4名と、日本人含め12名が信更地区で8月4日から29日から2週間にわたる「国際ワークキャンプ」という合宿型のボランティア活動を行いました。その名も「信更町インバウンドプロジェクト」。地域おこし

協力隊として赴任した窪美靖さんは、若者が出て行き、過疎・高齢化が進む中、地域の活力が失われていく中で、里山の魅力や隠れた資源を生かして外国人環境客を呼び込みたいと、仲間を掛け有志でプロジェクトを設立しました。

窪美さんは都会で生活していたため「ありふれた田舎こそ魅力」と感じ、「りんごやブルーベリーなどの収穫、野菜づけなど、都会や海外の若者たちが体験したいはず」とこのキャンプを企画。国際的なネットワークを活用して

国内各地でワークキャンプを行うNPO法人NICEと連携。ボランティアで里山の生活体験や農業の手伝いをするだけでなく、地域の住民とも協力した交流事業にも力を入れています。

取材した8月13日には、公民館と連携し地域のお年寄りや住民とのビンゴ大会や食事会など、参加者は積極的に交流しました。また里山の整備として竹を刈るボランティアと、竹を使った箸作りを楽しみました。メキシコから来た大学生は「田舎で生活文化に触れ、住民の方と触れ合うこ

とができてうれしい」と話します。

受け入れた地域住民も「小さな子どもや若者が地域にいなかった。これからは開かれた地域にしたい」と受け入れに前向きでした。今年度は全部で3回ワークキャンプを開催。この経験を生かし、今後どう活動を展開していくのか楽しみです。(寺澤)

信更町インバウンドプロジェクト
☎ 090-3698-0840
メール: ykubomi@gmail.com

地域で外国人と交流

信更町インバウンドプロジェクト